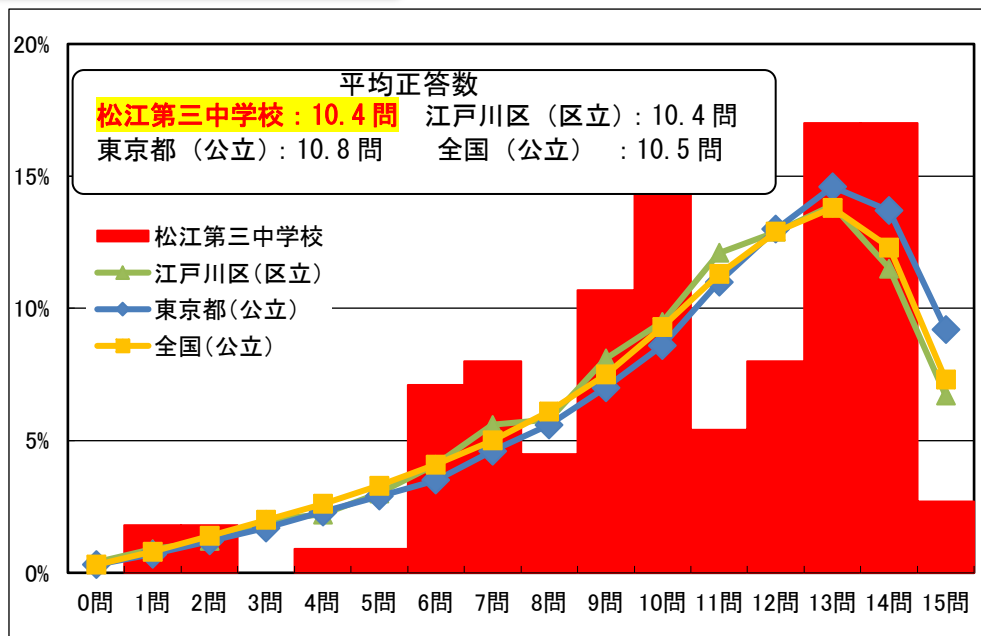
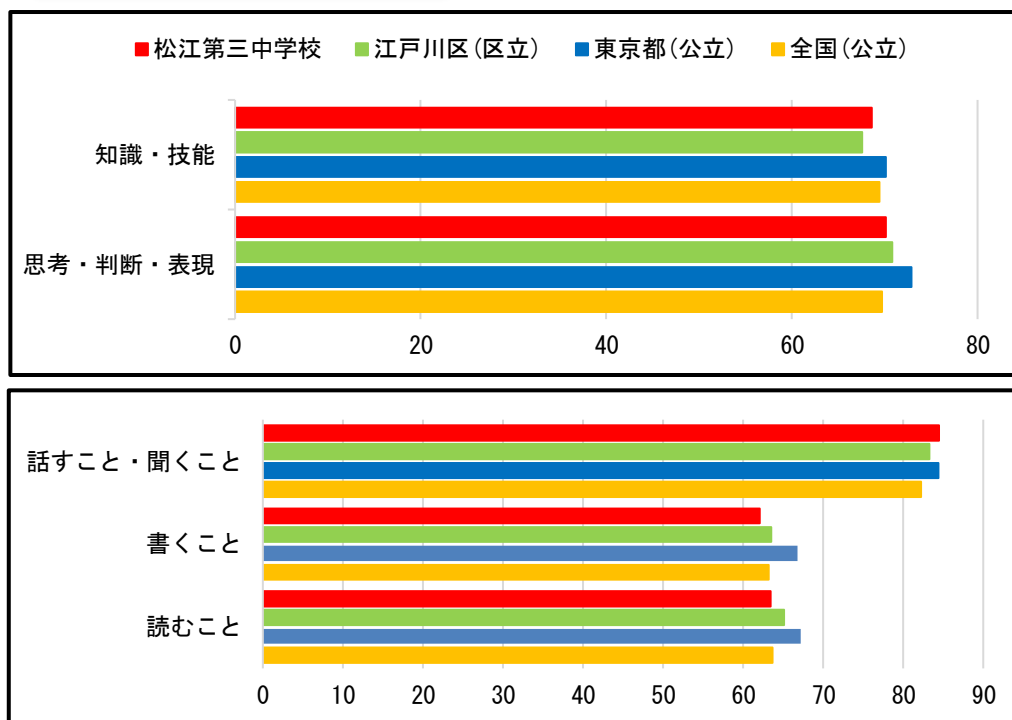


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 松江第三中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 13~15問	B層 12問	C層 9~11問	D層 0~8問
松江第三中学校	19.7	25.0	30.3	25.0
江戸川区(区立)	18.2	26.8	29.7	25.3
東京都(公立)	22.9	27.6	26.6	22.9
全国(公立)	19.6	26.7	28.1	25.6

【平均正答率の差】

松江第三中学校	69%
江戸川区(区立)	69%
東京都(公立)	72%
全国(公立)	69.8%
都との差	3ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

「話す・聞く」(15問中3問)は全国平均を2.3ポイント上回っているが「書く」では1.1ポイント下回っている。選択式の正答は全国より3.2ポイント上回っている。これは日頃の授業で四者択一のスキルを積んできた成果と考えられる。記述式の4問の中で「自分の考えを書く」2問は全国から3ポイント上回っているが、「根拠を明確にして書く」2問は全国から7.1ポイント下回っている。今後は文章の読み取りをもとに根拠を明確にして説明する学習を重ねていく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。